

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB）		
ナンバリングコード	E21202	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2年／後期
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002569	クラス名	後藤ゼミ
担当教員名	後藤 厳寛		
履修上の注意、 履修条件	必修科目です。個人の積極性と、グループワークでの協調性に期待します。		
教科書	ゼミの中で順次、指定します。		
参考文献及び指定図書	・日経キーワード 2025-2026（日経HR） ・2025→2026年版 図解まるわかり時事用語（新星出版社） ほか		
関連科目	観光学入門、観光ビジネス論、社会科学入門、社会調査法、地域ブランド論、地域イノベーション論、フィールドスタディ(地域マネジメント)ほか		

○基本情報		
授業の目的	住み良い社会や環境にやさしい暮らしといった「サステイナブル社会づくり」への貢献を目的に、地球規模のグローバルな視点と視野を保ちつつ、地域レベルでのローカルな活動を実践する、グローバル人材としての教養と課題解決能力の修得を到達目標とします。	
	前期授業ⅡAで学んだ、地域特性などをリサーチし、把握する能力を駆使して、その地域のSWOT〔強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)〕の4つの項目で整理して、分析する力を身に付けます。このSWOT分析手法を使って、例えば、地域の観光や防災、教育、医療・福祉分野をはじめ、地域ビジネスの起業ベンチャー・スタートアップ化などの「アクション・プランニング」に役立てます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	国連関連機関や国際NGO、新聞社での海外勤務をはじめ、農林水産省や山梨県の研究機関を経て佐賀県（農林水産商工本部）幹部職員との兼務で、(独)中小企業基盤整備機構の地域活性化支援アドバイザー(新連携事業)、(一財)九州産業技術センターのコーディネーター(九州成長戦略事業創出推進事業)ほか多種多様な実務経験あり	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域の現状を把握して、解決すべき課題の抽出を行える。		20点	20点
【知識・理解】	調査結果を整理・分析し、レポートにまとめることができる。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	分析結果を客観的に説明できる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	論理的に分析し、考察することができる。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
・ゼミでの議論内容や考察が優れている学生には加点します。 ・発表や質疑応答、プレゼンテーションなどが優れている学生には加点します。 ・予習(事前準備)、復習(振り返り)などゼミ前後の積極性も評価します。 ・レポート課題は次回以降のゼミ中に講評・解説します。 上記に加えて、ゼミ参加状況をもとに以下のように総合的に判断します。 〔Sレベル〕ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【十分に】満たしている。 〔Aレベル〕ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【ほぼ】満たしている。 〔Bレベル〕ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【かなり】満たしている。 〔Cレベル〕ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【一定量】満たしている。

○その他
■ 課題・質問等の受付方法 ・課題の遣り取りには、Google Classroomを使用します。 ・質問や相談、不明な点がある場合は、メールで問い合わせるか、オフィスアワーを確認し、19号館4階の後藤研究室まで尋ねに来てください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB） 後藤 厳寛	授業コード	E002569
学修内容					
1. ゼミナールⅡAの復習 ゼミナールⅡAの復習・振り返り。					
予習	グループワーク・ディスカッション結果を復習しておく				約2時間
復習	新たな社会課題について事前調査しておく				約2時間
2. SWOT分析(1) SWOT[強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)]の4つの項目で整理して、分析する SWOT分析手法を紹介します。					
予習	SWOT分析とは何かを調べておく				約2時間
復習	SWOT分析について学んだことをまとめておく				約2時間
3. SWOT分析(2) 実際のSWOT分析による社会課題の分析実例を紹介します。					
予習	SWOT分析とは何かを調べておく				約2時間
復習	SWOT分析について新たに学んだことをまとめておく				約2時間
4. SWOT分析(3) 社会課題を設定して、実際にSWOT分析を実践してみます。					
予習	SWOT分析の実例について調べておく				約2時間
復習	SWOT分析について新たに学んだことをまとめておく				約2時間
5. レポートの作成 分析結果を取りまとめて、レポート作成に挑戦してもらいます。					
予習	分析結果の要点をまとめておく				約2時間
復習	レポートを読み返して、自己チェック・確認する				約2時間
6. レポートの発表 作成したレポートを発表し、課題点を共有します。					
予習	発表の準備をしておく				約2時間
復習	議論の結果をまとめておく				約2時間
7. レポートの修正(1) 議論した内容を踏まえて、レポートを修正していきます。					
予習	議論の結果を読み込んでおく				約2時間
復習	レポートを読み返して、おかしいところがないか確認する				約2時間
8. レポートの修正(2) 議論した内容を踏まえて、レポートを修正していきます。					
予習	レポートの内容を確認しておく				約2時間
復習	議論を踏まえた上で、レポートを完成させる				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB） 後藤 厳寛	授業コード	E002569
学修内容					
9. スライドの作成 完成したレポートに合わせてどのように、スライドを作成するのか説明します。					
予習		レポートの要点をまとめておく			約2時間
復習		スライドが他人が聞いても分かるかどうか相互にチェックする			約2時間
10. プレゼンテーション(1) プレゼンテーションをもとに、全員で議論します。					
予習		発表の練習をしておく			約2時間
復習		他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる			約2時間
11. プレゼンテーション(2) プレゼンテーションをもとに、全員で奇論します。					
予習		スライドを修正しておく			約2時間
復習		他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる			約2時間
12. スライドの修正 プレゼンテーションをもとに、スライドを修正します。					
予習		発表の練習をしておく			約2時間
復習		他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる			約2時間
13. プレゼンテーション(3) 修正したプレゼンテーションを行います。					
予習		発表の練習をしておく			約2時間
復習		他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる			約2時間
14. プレゼンテーション(4) 修正したプレゼンテーションを行います					
予習		発表の練習をしておく			約2時間
復習		他の発表を見て、反省点を修正し、良いところを取り入れる			約2時間
15. まとめ テーマ毎／グループ毎に総括します。					
予習		議論の結果を読み込んでおく			約2時間
復習		できあがったスライドを読んで、当初のスライドからどのように進化してきたか確認する			約2時間
16.					
予習					
復習					